



吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより



令和元年12月2日発行 No. 9



感動した小学校合同音楽会

11月14日（木）に、舞鶴市総合文化会館で、舞鶴市小学校合同音楽会が開催されました。本校からは、3年生～6年生までの29名が参加しました。保護者の方々、地域の方々を含め多数の参観の中、合唱（今日から明日へ）・リコーダー奏（涙そうそう）を堂々と表情豊かに元気よく発表することができました。どちらの曲も沖縄出身の方が作詞作曲された歌で、旋律も詩も非常に心地よい曲です。特に、合唱では、手拍子も入れてリズムカルに歌い、練習の成果が出たのではないかと思います。会場から大きな拍手をもらいました。ステージから自席に戻る児童の表情は、やり切った感に満ち溢れていました。参観にこられていた地域の方から、「校長先生、吉原一番良かったわー。運動会のソーラン節と同じで、歌を自分のものにしとったで一。」と嬉しい言葉をいただきました。本当に私も、児童の頑張りに感動をしました。（今日から明日へ）の曲を作った仲里幸広さんは、以前の学校の文化祭に来てくださり、サイン（チバリヨー井上校長）をいただいたことがあります。その時に沖縄は、戦争でたくさんの方が犠牲になった歴史があるが、この曲は、子どもから大人までが、元気出して笑顔で歌って欲しいと願いを込めて作った曲であると話された事を思い出しました。今回の音楽会で貴重な経験ができました。出会いと感動が、子どもたちの好奇心や夢への挑戦へとつながればと思います。

「夕焼け」 吉野弘

いつものことだが 電車は満員だった。そしていつものことだが
若者と娘が腰をおろし としよりが立っていた。
うつむいていた娘が立って としよりに席をゆずった。
そそくさととしよりが座った。 礼も言わずにとしよりは次の駅で降りた。
娘は座った。 別のとしよりが娘の前に 横あいから押されてきた。
娘はうつむいた。しかし 又立って席を そのとしよりにゆずった。
としよりは次の駅で礼を言って降りた。
娘は座った。 二度あることは と言う通り 別のとしよりが娘の前に
押し出された。可哀想に 娘はうつむいて そして今度は席を立たなかった
次の駅も 次の駅も 下唇をキュッと噛んで 身体をこわばらせて・・・
僕は電車を降りた。 固くなってうつむいて 娘はどこまで行ったろう。
やさしい心の持主は いつでもどこでも われにもあらず受難者となる。
何故って やさしい心の持主は 他人のつらさを自分のつらさのように
感じるから。やさしい心に責められながら 娘はどこまでゆけるだろう。
下唇を噛んで つらい気持ちで 美しい夕焼けも見ないで。

12月4日
～10日は
人権週間です。

この詩は、昭和時代に活躍された詩人吉野弘さんの「夕焼け」で、国語の教科書にも掲載された詩です。



校長 井上憲正 教職員一同

舞鶴小学校合同音楽会 ～3・4・5・6年生が参加～

11月14日(木)に、舞鶴市小学校合同音楽会が舞鶴市総合文化会館で行われ、3・4・5・6年生の児童29名が参加しました。午前中は西舞鶴地区小学校の9校、午後は東舞鶴地区小学校9校の児童が参加しました。本番に向けて児童は、歌詞の意味を考えたり、曲想を高める強弱の工夫を重ねたりして練習してきました。当日は、緊張しながらも、これまでで最高の歌声やリコーダー奏を響かせることができました。会場で子どもたちの発表を聴き、大きな拍手を送っていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



(6年生学校紹介より)

私たちは、吉原小学校の3・4・5・6年生、29名です。吉原小学校は、目の前に海があります。夕方には、山に沈む夕日に照らされる舞鶴湾。かわら屋根に包まれている吉原の街並みなど、自然と歴史に包まれています。全校で38人と人数は少ないですが、「なんでもチャレンジ吉原小」のスローガンのもと、週2回全校遊びに取り組んだり、他学年と給食を食べたりして、全校仲良く過ごしています。

今日発表する1曲目は、合唱「今日から明日へ」です。この曲は、歌詞がとても素敵な曲です。私は二部合唱にも挑戦しています。二部のひびきにもご注目ください。

2曲目は、リコーダー奏「涙そうそう」です。3つのパートに分かれて練習しました。3年生は3つ目のパートを担当しています。学年も違って、リコーダーの音を合わせるのは大変でしたが、自分の音だけではなく、3つのパートの音を響かせることを意識しました。

どうぞお聞きください。

校内マラソン大会 ～全力で走り切りました～

10月30日(火)に、校内マラソン大会を行いました。

当日は、保護者の皆様や地域の皆様の熱い声援に支えられて、参加した全員が低学年1km、中学年1.9km、高学年2.7kmのコースを見事に走りきることができました。子どもたちは、体育の時間や業間休みに、一人一人が目標を立てて、校内マラソン大会に向けて練習に取り組んできました。「去年よりもがんばる。」「最後まで歩かないで走る」等、めあてを持ってがんばり、身体の面でも心の面でも、一回り大きく成長したように感じます。

当日、走路監視員としてお世話になりました保護者の皆様、お陰様で無事に実施することができました。また、最後まで子どもたちに沿道で声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

きょう、まらそん大かいをしました。8いになれてうれしかったです。がんばったことは、スタートでこけたけど、がんばったことです。おうえんを、おとうさんとおかあさん、たくさんの人にしてもらいました。おぶろやさんにもしてもらって、うれしかったです。

2年生についていきました。あしがつらかったし、くるしかったです。ちかいとはおもいませんでした。

(1年児童の日記より)



吉原っ子フェスティバル

11月16日(土)に吉原っ子フェスティバルが、吉原子育て支援協議会の主催で行われました。

今年度も、「紙トンボ」「めんこ」「輪投げ」「折り紙」「お手玉」「だるま落とし」等、遊び方や作り方を教えていただきながら、地域や保護者の皆様とふれあい、楽しく交流することができました。また、用意していただいた「うどん」を美味しくいただきました。家庭科室では「すごい、おいしい。」「おかわりください。」など、子どもたちのうれしそうな声が聞こえていました。

子育て支援協議会の皆様には、準備から当日の運営まで大変お世話になりました。ありがとうございました。



わたしは、今年も吉原っ子フェスティバルに参加しました。

今年は、わなげ、折り紙、紙とんぼ、こま回し、ストラックアウト、だるまおとし、グラウンドゴルフの7か所をまわって遊びました。こま回しは、去年吉原っ子フェスティバル以来一度もこま回しをしていなかったのに、思ったより回せてうれしかったです。グラウンドゴルフも2年ぶりにできました。紙とんぼ作りは小さいころから好きです。

最近、昔の遊びをあまりやらないので、吉原っ子フェスティバルに行ってよかったです。

(4年児童の日記より)

花いっぱい運動

11月18日(月)に「花いっぱい運動」を、今年も吉原子育て支援協議会のご協力をえて、実施することができました。この活動は、吉原小学校区にお一人で住んでおられる方へ、お花のプレゼントをすることで、地域の人々やお年寄りとの心づなを通し、温かい人間関係を育成することをねらいとしています。

この日までに、ピオラの花を鉢に植え替えたり、花に添える一言メッセージプレートづくりをしたりして、子どもたちは準備を進めてきました。

当日は、全校児童が民生児童委員の皆様や町内会長の皆様といっしょに、お一人暮らしのお年寄りのお宅を訪問し、「お体を大切にしてください。」「これからもお元気でお過ごしください。」等の言葉とともにお花をお渡ししました。そのたびに、「毎年ありがとう。」「きれいな花やね。」「とてもうれしいです。」「大切に世話します。」等の言葉をいただきました。

校区の各場所には、プランターの設置等を静溪会の皆様にもお世話になりました。

今年も子どもたちにとって、貴重な活動となりました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

